

# みいな

2010. 3. 5  
VOL.19



みんなで いっしょに なかよく

## 那須塩原市男女共同参画推進条例

### 6つの基本理念

- ① 男女の人権の尊重
- ② 社会における制度又は慣行についての配慮
- ③ 方針の立案及び決定への共同参画
- ④ 家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤ 男女の生涯にわたる健康の確保
- ⑥ 国際社会の動向を踏まえた取り組み



アグリパル塩原会 (会員162名)	
会長 (君島 圭一)	農産物直売部 部長 (室井 兼治) 会員 130名
	菓子加工販売部 部長 (印南 久美子) 会員 10名
	レストラン部 部長 (高橋 美代子) 会員 22名
※ 各部長は、副会長を兼ねる	

## アグリパル塩原会

平成8年にオープンした市の地域資源総合管理施設「アグリパル塩原 (関谷)」の管理をしています。最初は、地元の3つの団体が農業や特産物を生かして何かできないかとそれぞれ考えて活動していました。現在では、その3つがアグリパル塩原会となり、レストラン部、菓子加工販売部、農産物直売部と部門ごとに構成されています。「アグリパル塩原」は、道の駅としても知られ、観光客が多く訪れています。



### 菓子加工販売部

旧塩原町生活改善クラブの有志14名で始めた会です。主婦として培ってきた物を作る腕と味覚を地域で生かしたいと発足。当初は、材料費も自分たちで負担していましたが、毎晩、メニューを仲間と考えるのが楽しく、夢中になっていました。『安心して買えて、どこにもないものを作る』を基本理念に研究を重ね、「切干大根まんじゅう」を考案。予約が入るほどの人気になりました。手作りクッキーやケーキも販売しています。



### 農産物直売部

塩原らしい農産物を販売したいという思いで、毎日頑張っています。夏は、大根を中心にした高原野菜が目玉です。これからも、お客さんが見やすく、買いやすいように商品の種類や配置なども考えていきたいです。



### レストラン部

昔、ここ、上の内地域では、「けんちんうどん」がご馳走とされており、訪問者に振舞っていました。その味を継承できないかと発足。現在は、うどんだけでなく、きのこおこわをはじめとした地元の食材を使ったメニューを提供しています。お客さんに「美味しい」と言われるのを励みに、毎日働いています。



さしみこんにゃく



あつあつのうどん

### 取材を終えて

ここにしかない物、ここでしか食べられない物、何か始めなければという思いで主婦が集まりました。時給300円の時代もあったそうで、軌道に乗るまでは大変なことだったのでしょうか。観光客が増えた現在、さしみこんにゃくなどのメニューの考案にも力を入れていて、冬季は、不定期ですがバイキングを実施しているとのこと。一度、行ってみようと思います。同じ思いを持つ人が集まれば、地域をも活性化できることを知りました。



# 第12回全国シェルターシンポジウム2009inとちぎ

平成21年11月22日(日)、23日(月・祝)に、栃木県総合文化センターにて、ドメスティック・バイオレンス(以下DV)のない、安全で安心な社会の実現を目指したシンポジウムが開かれました。北海道から沖縄まで全国から延2,000人が参加し、DV根絶に向けての議論がなされました。今回は、このシンポジウムに参加した人の感想や意見をまとめました。



会場の様子



ギータ・ハディング博士

## 日程

11月22日(日)	11月23日(月・祝)
基調公演 シンポジウム	分科会A・1~A・9 B・1~B・8



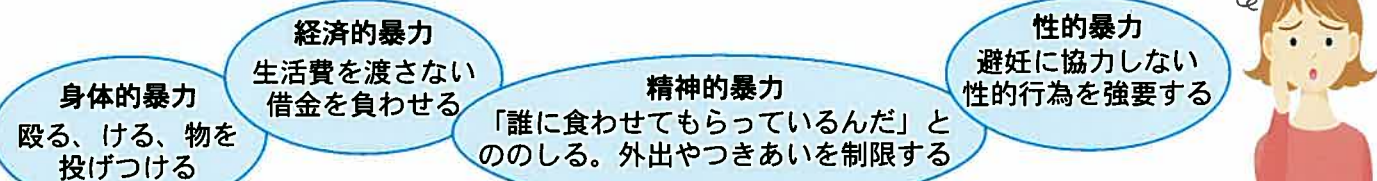
初日の基調講演「女性を脅かす罪 ～スウェーデンの実践～」では、スウェーデンでの事例を中心としたDVについての話が講師のギータ・ハディング博士からありました。ポイフレンドからの暴力により大怪我を負った女性の事例では、「裁判中、シェルター(被害者保護施設)のメンバーが女性に付き添って法廷に入ることができること」、「被害者弁護士法により、法手続きにおける被害者を保護するため、弁護士を国で選任すること(費用は国が負担)」、「警察における捜査手順を制度化し、迅速な捜査により被害状況を明らかにする」などのDVを受けた被害者への制度がスウェーデンにはあることが分かりました。

また、「DV被害からの回復と支援 ～地域のサポート力を高めるために～」と題したシンポジウムが開かれ、各専門分野3名のシンポジストから、『地域のサポート力を市民が作り出す必要性や地域社会が協力して問題解決に向かうべきである』等の話がありました。

## ～ ドメスティック・バイオレンス (DV) とは ～

配偶者や恋人など、親密な関係にある男女間の暴力をいいます。内閣府の調査によると、配偶者からの暴力を受けた女性は、3人に1人の割合でいることが分かりました。男性も6人に1人の割合で受けたことがあるという調査報告がされています。また、配偶者暴力相談支援センターへの相談件数も年々増加しており、平成20年度は全国で68,196件にも上っています。那須塩原市でも毎年、延べ200件前後の相談を受けています。

DVは、身体的な暴力だけではなく、下のようなものも暴力になります。



加害者は、暴力をふるっているだけでなく、「もう絶対に暴力をふるわない」と優しい一面も見せます。しかし、しばらくすると優しさが消え、不機嫌になり、暴力をふるうという繰り返しが起きています。

### 暴力は犯罪です!

## 分科会 A-1「DV被害者回復の継続的な支援を考える」に参加して

DVの被害者はやっとの想いで加害者から離れ「普通に暮らせる」と新しい生活をはじめた。しかし、夫が追ってくる夢を見るなど、フラッシュバックし平静でいられなくなる。そのような後遺症に度々襲われる。その心の傷つきを思う時、その後の心のケアはどこで誰がしてくれるのだろうか?

暴力を受けながらもその場に留まっている人、パートナーとの生活に息苦しさを感じている人、様々なかたちで身近に存在しているのに、もどかしいと感じてしまうことがある。

そんな人たちのこころの回復支援を目指して結成されたDV被害者の回復プログラム『レジリエンス☆こころのケア』は被害者の手で作られたものである。

ここではDVの被害者すべてを、敬意をこめて☆さんと呼んでいる。

☆さんはDVを知り、安全な場所で想いを語り、自分の考えや感情に気づき、自分を大切にできるコミュニケーションをすることにより心の傷を癒し成長していく。

また、継続的な支援のできるファシリテーターも養成され全国に展開されている。仙台市のシェルターでは、かつての☆さんがメインファシリテーターになって活躍しているとのこと。

身近にこの支援の手があったら、那須塩原市の☆さんもこころ強いと思わずにはいられない。

\* レジリエンスとは、回復力、復元力、元気、快活、弾力、反発を意味する

\* ファシリテーターとは、体験をもとにうながす人

## 分科会 A-8「DV家庭で育った子どものケアプログラム」に参加して

分科会では、DV被害の子どもたちの心のケアを目的とした居場所である函館の「ふわっと」と室蘭の「ぼけっと」、更に外国籍女性を母とする子どものケアプログラムを実践している東京の「女性の家HELP」の取り組みが発表されました。

DV家庭で育った子どもたちの多くは、直接暴力の被害を受けたり、母親への暴力を目撃することで心に深い傷を負うこととなります。そのため、母親へのサポートだけでなく、DVに巻き込まれた子どもたちのサポートがとても重要です。発表された3カ所ともDV被害者のシェルターの運営と併せて子どもへのサポートも行っています。シェルターで母親たちは傷ついた心と体を休め、「ふわっと」や「ぼけっと」など心のケアを目的とした居場所で子どもたちは傷ついた心を解きほぐしていきます。「ふわっと広場」に参加している子どもの声として「たのしくて、たのしくて、どうしても、たのしかった」と幼い字で書かれた文章が「ふわっと」通信に載っていましたが、子どもが「楽しかった」と言える安心した環境を保障することがいかに重要か再認識しました。

## DVは、なぜ起きるか・・・。

「仕事が多忙すぎるから」「お酒を飲みすぎたから」「妻が駄目な人間だから」「怒りがコントロールできないから」ではありません。「加害者が被害者を『自分の支配下におきたいから』であり、相手との関係を優越性と所有の関係におくための手段なのです。ですから、これを維持するために、相手が平等を要求した時に暴力が起きるのです。」

DVの根絶のためには、まず、みなさんの意識が大切です。周りを見渡してみても、DVで困っている人はいませんか? もし、あなたの近くで悩んでいる人がいたら声をかけてあげましょう。「あなたは悪くない」と。そして、相談機関を教えてください。

### ～ 相談機関 ～

- 那須塩原市子ども課【女性の相談員がいます】 0287-62-7138 (月～金 9:00～16:00)
- 婦人相談所 028-622-8644 (月～金 9:00～20:00)
- ウィメンズハウスとちぎ 028-621-9993(月～金 10:00～16:00)
- パルティ相談室【とちぎ男女共同参画センター】 028-665-7714(火～日 9:00～16:00)
- 栃木県警察本部県民相談室 028-627-9110





## ～ 知っていますか? テートDV ～

DVは、夫婦間だけでなく、恋人間でも起きています。最近では、中高生などの若いカップルの間でもデートDVが起きています。彼氏、彼女のことは好きなんだけど・・・。こんなこと起きてませんか?

殴ったり、蹴ったり…。自分を最優先にしないと不機嫌になったり…。

電話やメールの履歴をチェックしたり…。「別れるなら死ぬ」と言ったり…。

常に居場所を報告させたり、行動を制限したり…。

それを、愛されているから、愛しているからと思っていないですか? 本当に好きな相手には、相手のことを尊重するので、こんなことはしません。思い当たること、気になることがあれば、相談してみてください。

(※相談先はP3参照)



### 共働きなのに…。



絵:MARI

### 男女共同参画フォーラム2009

## 『女と男 ともに輝くまちづくり』報告



#### オープニングアトラクション

#### 「かてんつ」のコーラス

平成21年11月27日(金)、市と輝きネットなすしおばら主催の男女共同参画フォーラムが、那須野が原ハーモニーホールにおいて開かれました。中尾彬、池波志乃夫妻による「いい人と出逢ってますか」という題の講演が行われ、約980名の参加者が集まり、おしどり夫婦の軽快な会話に聞き入っていました。

中尾さんは、大切なのは「他人と比べない」こと。夫婦の形はいろいろあっていいと言い、自分たちは、食事を通じた会話を大切にしていると話しました。妻の池波さんは、3年前に中尾さんが病気になり、生存率が20%以下と言われ看病が大変だったことなどを話しました。長い間には、良いことばかりがあるわけではない。そんな時に「だって」「でも」「しかし」と言っても事態が変わらないのだから言わないようにしている。言い方、考え方一つで物事の見方は変わってくると話しました。また、「いい人」とは、いい人ぶっている人ではなく、多面的で人間味のある人のことで、そんな人たちとの出逢いを楽しんでいると話しました。



中尾彬さんと池波志乃さん

### 「みいな」の編集委員を募集します!!

「みいな」に載せる記事の取材や記事の構成などを行います。あなたも編集委員になってみませんか。

応募資格：市内在住または、市内に勤務している20歳以上の方

編集委員期間：平成22年4月～平成23年3月まで(1年間)

募集人数：2名

募集締切：4月2日(金)



### 編集後記

いい人に出会って  
 どういうことだろう。  
 生まれてから今まで、  
 思えば本当にたくさん  
 の人に出会った。どの  
 時代も、出会って親し  
 くなつた人とは今も交  
 流が続いている。長い  
 間会わなくても、会っ  
 た瞬間空白の時間が一  
 瞬にして縮み繋がって  
 しまう。そんな瞬間が  
 たまらなく好きだ。  
 みいなの取材で出会  
 った人の生き方に感銘  
 を受け、そして編集に  
 携わった仲間との出会  
 いもまた楽しく、一緒  
 に学べたことは、自分  
 を成長させてくれた。  
 人に傷つけられた心は  
 人でしか癒すことがで  
 きない。やさしさに触  
 れると、自分もやさし  
 くなれる。そう思うと、  
 人は人によつて生かさ  
 れると感じる。人に  
 出会うってそういうこ  
 となのかな。それならば、  
 残りの人生お目にかか  
 れる人を想像し心待ち  
 にしていよう。

#### 編集委員

伊吹 桂子 櫻井 俊子  
 左近 剛 手塚 祐子  
 富永 文子 濱口 三江